

令和5年度 学校評価報告書

学校名	三田市立母子小学校
-----	-----------

1 学校教育目標

ふるさとを愛し よく考え 心豊かに たくましく生きる 児童の育成

2 今年度の学校重点目標

- ・教職員としての資質や実践的指導力の向上に努め、子どもたちに「生きる力」を育む教育を推進する。
- ・複式学級の良さを生かした教育課程を編成し、少人数指導の充実を図りながら、個に応じた教育を実践する。
- ・コミュニティスクール(学校運営協議会)を活用して、地域とつながり、地域に信頼される学校を目指して、地域の特性を生かした教育を実践する。
- ・教職員と児童・保護者・児童間の相互理解を深め、ともに生きる社会につながる教育を実践する。

※小規模特認校母子小学校の教育活動の様子を、オープンスクールや学校ホームページで積極的に発信する。

- ・教職員の「健康」「心理的安全性」「自己決定」を大切にする職場環境づくりを進める。

3 総合的な自己評価

- ・学校教育目標の実現に向けて、保護者、地域と連携しながら、具体的提言や改善していく方向性を全教職員で共有し、学校運営ができています。
- ・少人数の学校の特性を生かしつつ、児童の生きる力を常に念頭に考え、きめ細かな支援・指導を行うことができています。

4 総合的な学校関係者評価

- ・きめ細かな支援・指導により、子どもたちはいきいきと学校生活をおくっている。小規模特認校の児童の割合が半数を超えたが、母子小学校に通う児童は地域の宝である。今年度は、母子小学校創立150周年記念を迎え、学校と地域が連携した取組を円滑に進めることができたが、今後も「母永『宝と夢』の里づくり協議会」も含めて更なる連携協力をしていきたい。

5 評価結果

自己評価			学校関係者評価	
分野・領域	評価項目 (取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程 学習指導	複式学級・少人数の良さを生かした教育課程を編成し、学び合いによる学力の伸長を図る。	・算数科を中心として、「おたずね」によるコミュニケーションから学習内容を深めていく授業形態が定着している。子どもたちが主体的に学習に関わる姿勢を育てることができている。 ・学びを深めるおたずね等を教材研究時に予想し、教師の出場で意識させる支援が必要である。	・今後も算数科以外の教科でもガイド学習の要素を取り入れた授業を実践していく。 ・「学習の山場」を設定し、子どもたちの深い学びとなるような仕掛けづくりを行う。 ・タブレット端末や大型テレビを効果的に活用し、情報機器等を使って説明する力を育てていく。	・少人数を生かした効果的な指導を行ってもらっている。継続した取り組みを期待している。今年度は全国へき地大会(会場校)において母子の教育を全国に発信することもできた。
	基礎的基本的な知識・技能を習得し、自己学習力の向上を図る。	・毎朝の漢字・計算アタックの取組により、児童自身が伸びを実感し、基礎学力向上に効果的であった。 ・児童に対する支援の方法について教師間での共通理解に努め、児童のつまずきがあれば迅速に対応できた。	・毎朝の漢字アタック、計算アタックは継続して取り組み、タブレット端末も効果的に活用する。 ・朝や放課後の時間を利用し、学習支援を行う。また、家庭との連携も密にし、家庭学習の定着を図っていく。	・タブレットを使った学習に力を入れて、母子の教育の特色の一つにしてほしい。
	学びの場面での人々との交流を通して、表現力を育成する。	・地域や保護者の方に来ていただく本校ならではの特色ある取組(七夕交流会、運動会、芸術のつどい、ふるさと感謝祭等)を実施することができた。 ・神島小学校との交流(WEB)、小規模交流(中学校区の学校間)を積極的に行うことができた。	・校内での異学年交流、地域との交流、中学校区内の交流、他市の小規模校交流など様々な交流で更に効果的な表現力の育成に向けた取り組みを実施し、支援にあたる。	地域との交流を位置づけ、人に出会ったり、場所を訪れたり、特産物を育てたりする等の学習に取り組み、特色ある教育課程を編成しているのは地域としても有難い。今後も続けていってほしい。また、「母永『宝と夢』の里づくり協議会」との連携を深めることもできた。
生徒指導 いじめ防止	あいさつ、掃除、宿題、学用品の用意等、基本的な生活習慣の形成を図ると共に集団生活の規律を守る態度を育てる。	・あいさつやお手伝い等の家庭生活では、子ども、保護者との間に認識のずれがある。 ・持ち物や提出物を学級通信や連絡帳で知らせてはいるが、宿題、忘れ物等の基礎的な生活習慣がまだ確立していない児童もいる。	・朝の登校時の立ち番、全校朝会、全校集会等であいさつの大切さについて継続指導していく。 ・前日に時間割を合わせる時に、持ち物や提出物も準備ができていないかを確認する等、家庭と一層連携し、生活習慣の確立を図りたい。	・いつでも気持ち良いあいさつができるよう、更に支援してほしい。各家庭との連携も大切である。 ・子どもからのサインを見逃さないよう今後も研修に努めてほしい。少人数ではあるが、「いじめ対応チーム」を機能させ、誰でも相談できる体制を整えてほしい。
	・学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめに向かわない態度・能力を育てる。	・今年度も「いじめ対応チーム」を中心に、組織的に取り組み、全職員共通理解の上対応してきた。どの児童にも起こり得ると考えてアンテナを高くもち、全教職員で情報を共有し児童と向き合うことができた。	・普段から子どものことを話し、毎月の職員会議職朝等でクラス・児童の様子を交流する。 ・定期的に児童理解の校内研修会を持ち、早期発見、早期対応に努める。(いじめ対応チーム)	
道徳教育 人権教育 特別支援教育 国際理解教育	互いを思いやり、自他の命と人権を大切にすることを育む。	・発達段階に応じて豊かな情操、道徳心、人権意識を高めていくための学習を実践することができた。	・豊かな人権感覚を身につけるために、温かい雰囲気のある学校、学級を目指す。 ・今年度は、兵庫県警察にお世話になり、情報モラル研修会を保護者、児童対象に実施した。低年齢化が進むスマートフォンの所持への対応に今後も継続していく。	・情報モラル教室をはじめ、人権感覚を育むために熱心な取り組みをいただいている。今後も継続した取り組みを期待したい。
	違いを認め、ともに生きる社会につながる態度を育てる。	・福祉学習にて、今年度は、車いす体験を実施した。利用されている方の気持ちに寄り添うことは、すべての人の気持ちに寄り添うことにつながることを学習することができた。	・毎年、テーマを絞り、継続して福祉体験学習を継続実施していく。 (6年間で様々な分野で福祉体験学習を実施する)	・様々な人との出会い、交流を大切に、教育を進めていってほしい。
防災・安全教育	災害から身を守る態度や、安全に気をつけて、生活する態度を育てる。	・1学期に不審者対応、2学期に土砂災害対応、3学期に地震対応の避難訓練を計画的に実施した。自ら判断できる児童を育むため予告なしで実施する等例年にはない取組により、防災に対する意識を高めることができた。 ・教師による登下校指導や保護者の下校見守りにより、登下校をはじめ帰宅後も安全に気をつけて生活することができている。	・本校は土砂災害危険地域に指定されている。避難訓練時に、学校から安全な場所へ避難する方法(山の峰会館へ避難、校舎の2階へ避難等)も組み合わせ訓練も行っていく。 ・全国的に自転車による事故が多発している。交通安全教室と合わせ、自転車の乗り方指導を継続して実施していく。	・今年度は母子芸術のつどい時にパネル掲示という形で地域防災訓練を実施した。来年度以降も学校と地域が連携した取り組みを行う必要性は感じるので、工夫して実施していきたい。
	保護者・地域住民との連携	・地域力を生かした教育内容を創造し、保護者や地域の人々の参画と協働を得て、魅力あるコミュニティスクールを推進する。 ・学校行事、オープンスクールを通して、地域の人材や素材を活かした学習や新たな行事に取り組めた。 ・学校運営協議会を通して、これまで本校が培ってきた保護者、地域との連携を推進していくことができた。 ・創立150周年記念行事においては、学校・家庭・地域が連携した催しを企画運営することができた。	・今後も、地域の方、保護者の方の支援を受けながら、地域の人材や素材を活かした学習に取り組んでいく。 ・今後も学校通信やホームページ等で積極的な情報発信につとめ、保護者や地域の方々が来校しやすい学校づくりに努める。	・学校・家庭・地域が一体となって創立150周年記念行事を成功させることができた。 ・学校だよりや学年だより、また毎日更新されているホームページで学校の様子を日常的に発信していただいていることに感謝している。

6 学校自己評価の実施状況について

時 期	内 容
6月	オープンスクール・七夕交流会参観とアンケートの実施
7月	いじめに関する児童へのアンケート
9月	運動会への参観とアンケートの実施
10月	オープンスクール・人権参観とアンケートの実施
11月	母子芸術のつどいへの参観とアンケート
12月	いじめに関する児童へのアンケート
1月	学校・家庭生活についての児童・保護者アンケート
2月	母子ふるさと感謝祭への参加とアンケートの実施
2月	いじめに関する児童へのアンケート

※学校自己評価…外部(児童生徒・保護者・地域等)アンケートの実施を含む

7 学校関係者評価委員会の活動について

時 期	内 容
5月	第1回学校運営協議会(年間予定について)
6月	第2回学校地域運営協議会(今後の行事・予定について)
8月	第3回学校運営協議会(1学期の総括と今後の学校運営について)
9月	運動会への参観と聞き取りによる評価
10月	第4回学校運営協議会(研究の成果と課題について)
11月	母子芸術の集いへの参観と聴き取りによる評価
1月	第5回学校運営協議会(学校評価・来年度に向けて)

8 学校評価の公表について

時 期	手 段	内 容	添付
1月	学校運営協議会	児童・保護者アンケートの結果をもとに、学校の考え方を示し、課題や改善策について検討・協議をおこなった。	○
2月	懇談会全体会	上記の結果をもとに、保護者と今後の課題について共有を進めた。	
3月	学校ホームページ	学校評価の結果及び今後の改善策を示し、地域等への情報発信をおこなった。	